



平成31年4月18日
独立行政法人国立科学博物館

コレクション特別公開「クレマチス園公開」のご案内

国立科学博物館 筑波実験植物園(園長 樋口 正信)において、
来る4月27日(土)から6月2日(日)まで、コレクション特別公開
「クレマチス園公開」を実施いたします。

筑波実験植物園のクレマチス園では、カザグルマをはじめとするクレマチス*の野生種とその園芸品種約250種類1200株が植栽されています。貴重な野生種をはじめ、新旧様々な園芸品種がコレクションされています。クレマチスの花が見ごろを迎える4月27日(土)から6月2日(日)の期間、コレクション特別公開「クレマチス園公開」として、クレマチスの野生種と園芸化の歴史、日本を代表する野生種でありながら絶滅危惧種のカザグルマ、さらに花色などについての解説パネルを展示するとともに、クレマチスの野生種の系統に関するセミナーや栽培講座などを開催します。日本屈指の展示種類数を誇るクレマチス園で、自然と人が作り出した、色とりどりのクレマチスを是非ご覧下さい。今年は春先の高温により、例年と比べて開花が1週間程度早めになる可能性があります。

なお、5月4日(土・祝)は、みどりの日として、5月18日(土)は、国際博物館の日として入園無料でご覧いただけます。

つきましては、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

※クレマチスについて

クレマチスとは、キンポウゲ科センニンソウ属(*Clematis*)に分類される植物の総称で、日本にはカザグルマ、ハンショウヅルなど31種(変種を含む)が自生します。また日本のカザグルマや、中国原産とされるテッセンなどの世界各地の野生種をもとに、多彩な園芸品種が作出されてきました。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：村井 良徳(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

コレクション特別公開「クレマチス園公開」実施要項

- 1. 目的** 筑波実験植物園のクレマチス園には、カザグルマをはじめとするクレマチスの野生種とその園芸品種約250種類1200株が植栽されています。
クレマチスの花が見ごろを迎える4月27日（土）から6月2日（日）の期間をコレクション特別公開「クレマチス園公開」として、自然と人が作り出したクレマチスの美しさをご覧いただくとともに、クレマチスの特徴や科学的知見、絶滅が危惧されているカザグルマなどを紹介します。
- 2. 名称** コレクション特別公開「クレマチス園公開」
- 3. 主催** 独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園
- 4. 会期** 2019年4月27日（土）～2019年6月2日（日）計33日間
（休園日：5月7日（火）、13日（月）、20日（月）27日（月））
- 5. 場所** 筑波実験植物園クレマチス園、教育棟

6. 展示構成

①クレマチスの展示

筑波実験植物園のクレマチス園のカザグルマをはじめとするクレマチスの野生種とその園芸品種約250種類1200株を公開します。多種多様な色と形の花が楽しめます。野生のカザグルマをはじめとする早咲きの花にはじまり、会期後半のジャックマニーやテキセンシス系などの遅咲きの花まで、クレマチスの多彩な花々のリレーが楽しめます。

②クレマチスに関するパネル展示

クレマチスの野生種とその園芸化の歴史、多彩な花色の仕組み等をパネルで紹介합니다。

7. 関連事業

①展示案内「クレマチス園ガイドツアー」

日時 2019年4月30日（火）、5月4日（土・祝）、6月2日（日） 各回午前11時から11時45分
講師 国立科学博物館 植物研究部 多様性解析・保全グループ 村井 良徳
集合場所 教育棟
定員 特に設けません。（事前予約不要、当日教育棟にお越しください。）

②特別セミナー「日本に自生するさまざまなカザグルマとその保護活動」

日時 2019年5月12日（日）午後1時30分から2時30分
講師 カザグルマ研究者 飯島 真
会場 研修展示館3階セミナー室
定員 30名（要電話予約・先着順）

③栽培講座「はじめてのクレマチス栽培」

日時 2019年4月30日（火）、6月2日（日） 各回午後3時から3時30分
講師 国立科学博物館 植物研究部 多様性解析・保全グループ 村井 良徳
会場 クレマチス園
定員 20名（要電話予約・先着順）

④園芸植物販売

クレマチスをはじめとする園芸植物の販売（教育棟）

日本で誕生した名花たち

クレマチス（キンポウゲ科センニンソウ属）には、約300の野生種と数千にもおよぶ園芸品種が存在します。その花は色や形が変化に富み、さらに香りのする種類もあり、とても多様化しています。本公開では、日本のカザグルマをはじめとする野生種や、それらをもとに作出された園芸品種の多彩な花々を通じて、植物の多様性に触れていただきます。日本では戦後にクレマチスの品種改良が盛んに行われるようになり、現在まで長く親しまれている品種が多く作出されました。その中には海外で流通している品種もあります。本年度は、このような日本で生まれた名花についても紹介します。

【日本の野生種・カザグルマ ※見頃：会期前半】



カザグルマ（茨城・水戸産）
茨城県内には産地がいくつかあるが、
白い萼片に紫の花芯の花が多い。



カザグルマ（群馬・長野原産）
花に多様な変異が見られる産地だ
ったが、ダム建設により失われた。

【日本の名花】



柿生 会期前半に咲くパテンス（カザグルマ）系の品種。海外では‘ピンク・シャンパン’の名で流通。



天塩 会期中盤に開花する、さわやかなラベンダーブルーの八重咲き品種。花つきも良く人気。



藤娘 日本を代表する品種の一つで、当園の人気 No.1 クレマチス。海外でも流通している。会期後半に開花する。



籠口（箆口） 日本で作出されたインテグリフォリア系の品種で、ベル形の花が人気。会期後半に開花する。

【21世紀に日本で生まれた品種（名花の候補たち）】



はやて 会期中盤から開花する、フロリダ（テッセン）系の品種。濃い紫色で花つきも良く人気。



かぐや 日本生まれのビチセラ系の品種で、会期後半に可愛らしいピンク色の花を多く咲かせる。

【クレマチス園の様子】



5月上旬の園内（パテンス系など）



6月上旬の園内（ジャックマニー系など）